

令和8年度
浸水対策検討に向けたアンケート調査
報告書

令和8年7月
熊本市

目次

I.調査の概要	3
1. 調査の目的	4
2. 調査設計	4
(1) 実施時期.....	4
(2) 調査対象.....	4
(3) 調査方法.....	4
(4) 有効回収数（有効回収率）	4
(5) アンケート項目	4
(6) 調査主体.....	4
II.アンケート調査結果	5
■令和7年8月豪雨によるり災世帯.....	6
1. 回答者の属性	6
2. 回答者の防災意識.....	8
3. 浸水経験者のニーズ	10
4. 今後の浸水対策について	12
■洪水・高潮の浸水深3 m以上の区域に居住する世帯.....	17
1. 回答者の属性	17
2. 回答者の防災意識.....	19
3. 浸水経験者のニーズ	21
4. 今後の浸水対策について	23
■令和7年8月豪雨によるり災世帯における特性と洪水・高潮の浸水深3 m以上の区域 に居住する世帯の特性の比較.....	27
III.調査票	38

I.調査の概要

1. 調査の目的

豪雨等による浸水リスクに対する市民の意識や、これまでの経験、避難行動や今後の備えに関する考えを把握し、今後の浸水対策の検討に活かすことを目的とするもの。

2. 調査設計

(1) 実施時期

令和8年(2026年)5月12日～令和8年(2026年)5月31日

(2) 調査対象者

- ① 令和7年8月豪雨にて罹災証明書が提出された世帯のうち1280世帯
- ② L2 区域(洪水・高潮発生時に3以上浸水する可能性がある区域)の世帯のうち1280世帯

(3) 調査方法

郵送及び WEB アンケートによる回収

(4) 有効回収数(有効回収率)

① の世帯

718人(56%)

(調査票の返送による回答(460票))

(調査票内の QR コードから、WEB アンケートシステムで回答(258票))

② の世帯

500人(39%)

(調査票の返送による回答(337票))

(調査票内の QR コードから、WEB アンケートシステムで回答(163票))

(5) アンケート項目

属性に関する項目 4項目

防災意識に関する項目 3項目

浸水被害経験者のニーズに関する項目 4項目

今後の浸水対策に関する項目 8項目

(6) 調査主体

熊本市都市建設局 都市政策部 都市安全課

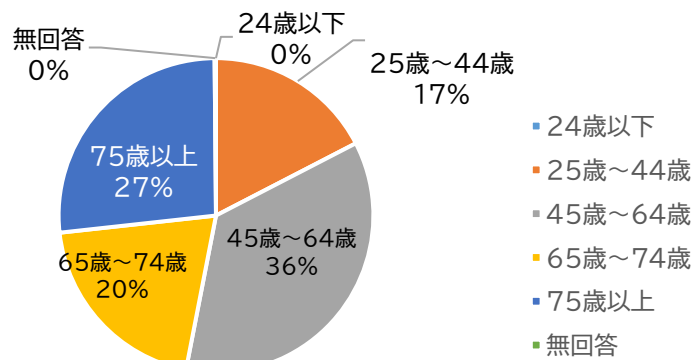
Ⅱ.アンケート調査結果

■令和7年8月豪雨によるり災世帯における特性

1. 回答者の属性

問1 あなたの年齢を教えてください。(1つ選択)

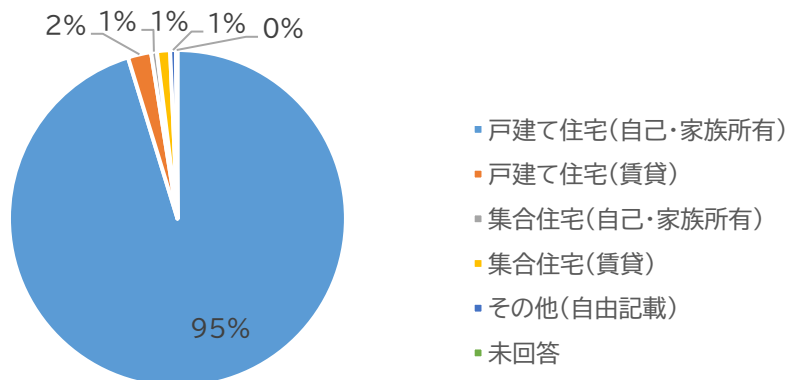
年齢について尋ねたところ、「25歳～44歳」と答えた割合が17%、「45歳～64歳」と答えた割合が36%、「65歳～74歳」と答えた割合が20%、「75歳以上」と答えた割合が27%となっている。



n=718

問2 現在のお住まいはどのような形態ですか。(1つ選択)

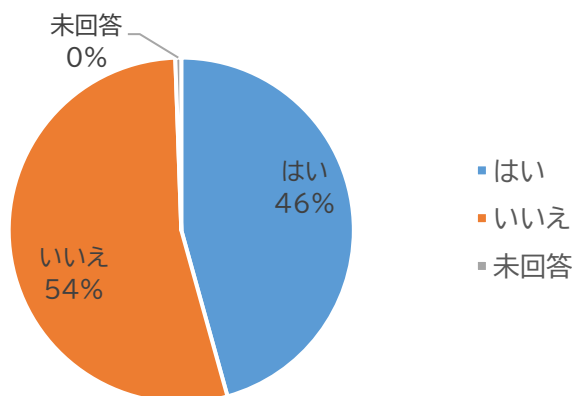
居住形態について尋ねたところ、「戸建て(自己・家族所有)」と答えた割合が95%となっている。



n=718

問3 世帯の中に、災害時の避難において、特に配慮が必要な方はいらっしゃいますか。(1つ選択)

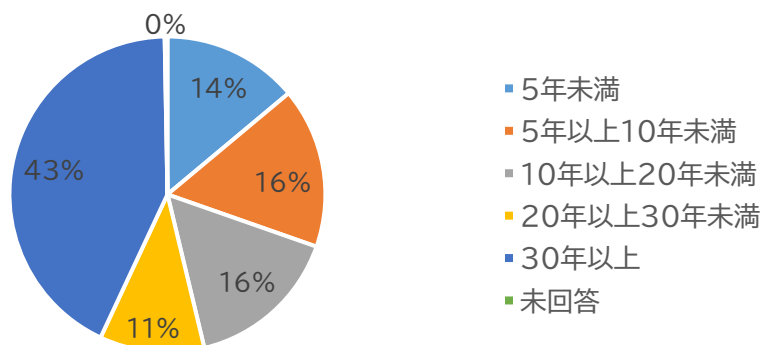
災害時の避難における要配慮者(高齢者、未就学児等)の有無を尋ねたところ、「はい」と答えた割合が46%、「いいえ」と答えた割合が54%となっている。



n=718

問4 現在のお住まいには、どれくらいの期間お住まいですか。

居住期間を尋ねたところ、「30年以上」と答えた割合が43%、次いで「5年以上10年未満」「10年以上20年未満」と答えた割合が16%となっている。

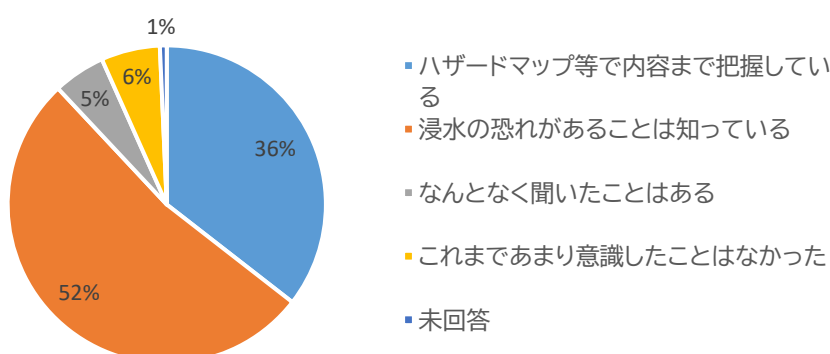


n=718

2. 回答者の防災意識

問5 洪水や高潮などにより、ご自宅やその周辺がどの程度浸水するかご存じですか。(1つ選択)

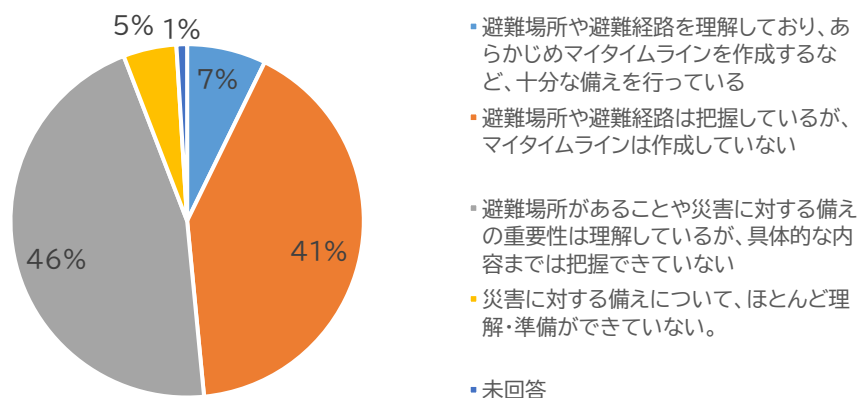
洪水や高潮発生時の浸水リスクに対する意識調査を行ったところ、「浸水のおそれがあることは知っている」と答えた割合が52%、「ハザードマップ等で内容まで把握している」と答えた割合が36%となっている。



n=718

問6 災害発生時に備えた準備状況について、最も近いものを選択してください。(1つ選択)

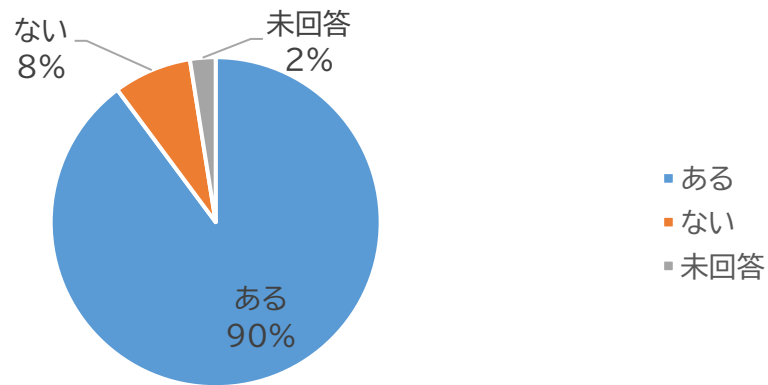
災害発生時における備蓄・準備状況について尋ねたところ、「避難場所があることや災害に対する備えの重要性は理解しているが、具体的な内容までは把握できていない」と答えた割合が46%、「避難場所や避難経路は把握しているが、マイタイムライン(自分や家族の避難行動計画)は作成していない」と答えた割合が41%となっている。



n=718

問7 これまでに、お住まいの場所で、浸水による被害を経験したことはありますか。(1つ選択)

浸水被害の有無を尋ねたところ、「ある」と答えた割合が90%、「ない」と答えた割合が8%となっている。

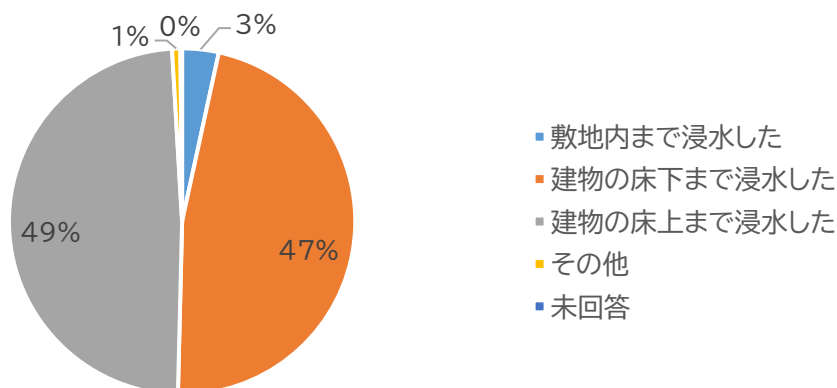


n=718

3. 浸水経験者のニーズ

問 8 浸水した際の状況について、最も近いものを教えてください。(1つ選択)

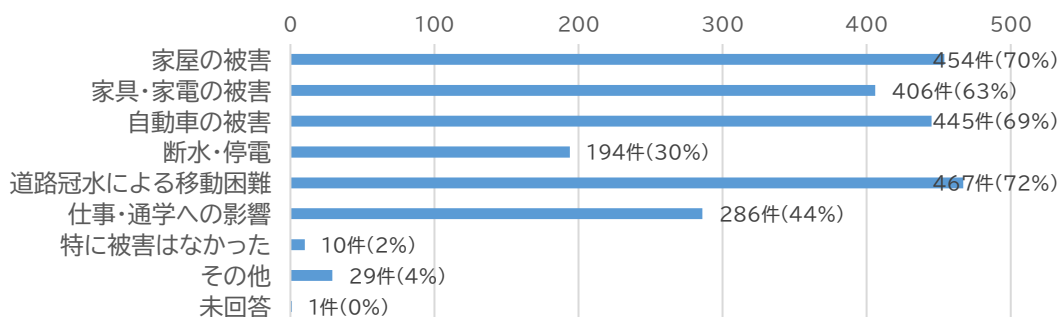
浸水被害を経験したことがあると答えた世帯に、浸水した際の状況について尋ねたところ、「建物の床上まで浸水した」と答えた割合が49%、「建物の床下まで浸水した」と答えた割合が47%となっている。



n=645

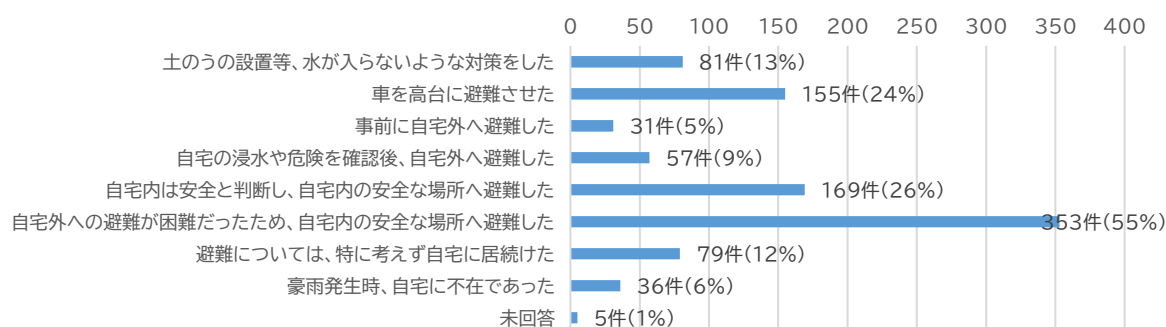
問 9 浸水時、どのような被害が発生しましたか。(複数選択可)

浸水被害を経験したことがあると答えた世帯に、浸水後の被害状況を尋ねたところ、「道路冠水による移動困難」と答えた世帯が467件、次いで「家屋の被害」が454件、「自動車の被害」が445件となっている。



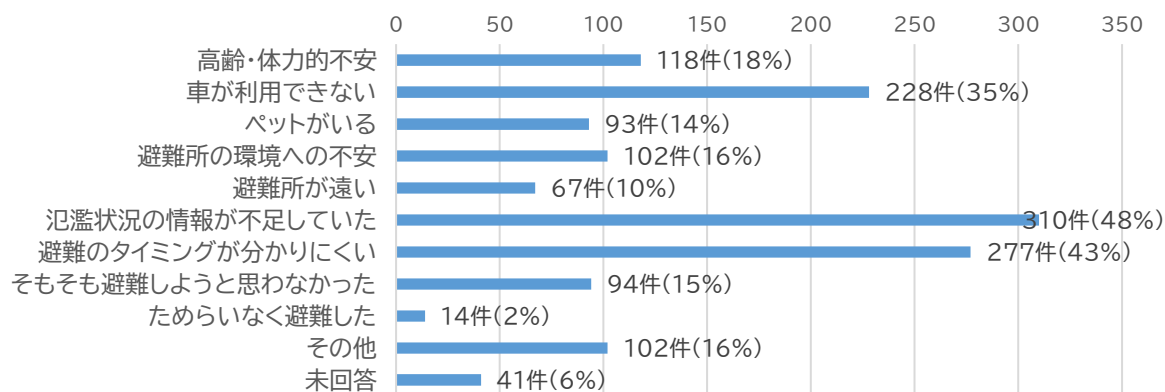
問10 浸水時、あなた(ご家族を含む)はどのような行動をとりましたか(複数選択可)

浸水被害を経験したことがあると答えた世帯に、浸水時にとった行動について尋ねたところ、「自宅外への避難が困難だったため、自宅内の安全な場所へ避難した」と答えた世帯が353件、「自宅内は安全と判断し、自宅内の安全な場所へ避難した」が169件、「車を高台に避難させた」が155件となっている。



問11 自宅外への避難行動が難しかった、またはためらいを感じた理由があれば教えてください。(複数選択可)

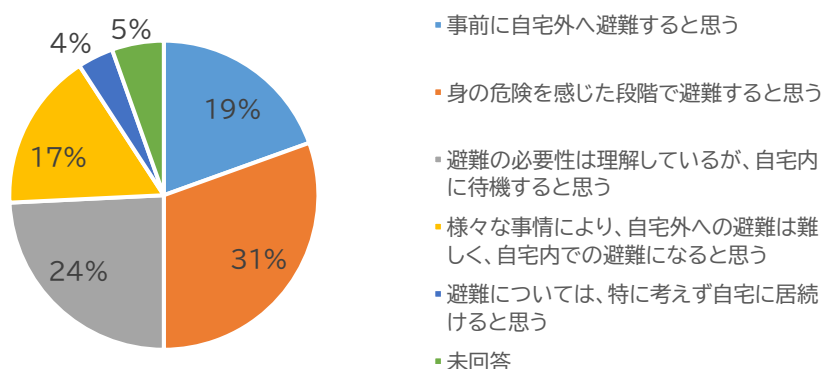
浸水被害を経験したことがあると答えた方に、自宅外への避難が困難だった理由、ためらいを感じた理由について尋ねたところ、「氾濫状況の情報が不足していた」と答えた世帯が310件、「避難のタイミングが分かりにくい」が277件、「車が利用できない」が228件となっている。



4. 今後の浸水対策について

問12 今後、豪雨により浸水の恐れがある場合、あなた(ご家族を含む)はどのような行動をとると思いますか。(1つ選択)

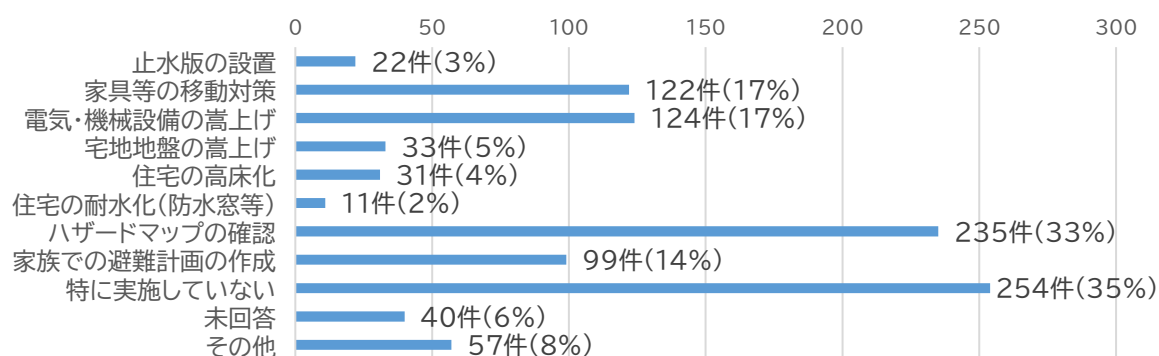
豪雨による浸水の恐れがある場合における今後の避難行動について、「被災経験者は前回の経験を踏まえ、未経験者は想定の上で回答する」ことを条件に尋ねたところ、「身の危険を感じた段階で避難すると思う」と答えた割合が31%、「避難の必要性は理解しているが、自宅内に待機すると思う」が24%となっている。



n=718

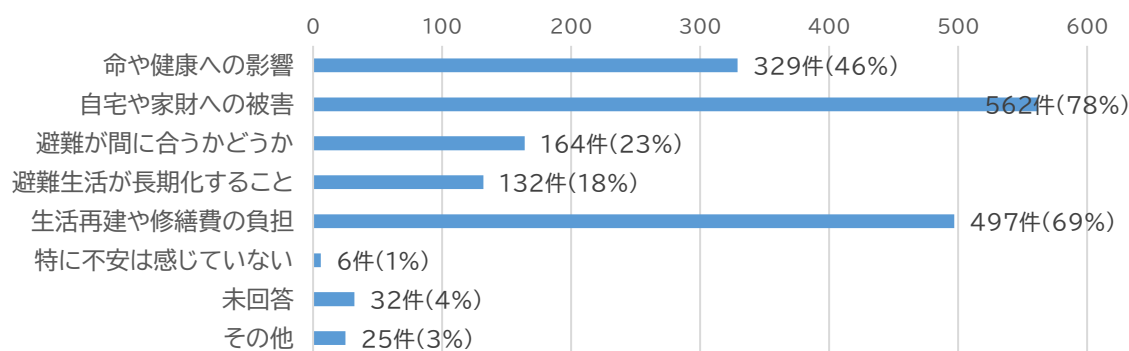
問13 現在、浸水に備えて実施している対策はありますか。(複数選択可)

浸水対策について実施している対策を尋ねたところ、「特に実施していない」と答えた世帯が254件、「ハザードマップの確認」が235件となっている。



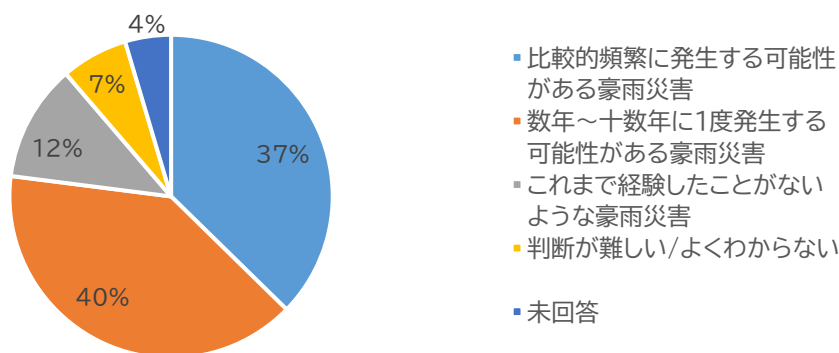
問14 豪雨が発生した場合、特に不安に感じることはなんですか。(3 つまで選択可)【※被災経験のある方は「前回の経験を踏まえて」、ない方は「想定して」お答えください】

豪雨発生時に不安に感じることを尋ねたところ、「自宅や家財への被害」と答えた世帯が562件、「生活再建や修繕費の負担」が497件となっている。



問15 あなたが今後、浸水対策を検討すると想定した場合、特に重視する災害の頻度や規模についてあなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。(1 つ選択)

特に重視する災害の頻度や規模について尋ねたところ、「数年～十数年に1度発生する可能性がある豪雨災害」と答えた割合が40%、「比較的頻繁に発生する可能性がある豪雨災害」が37%となっている。

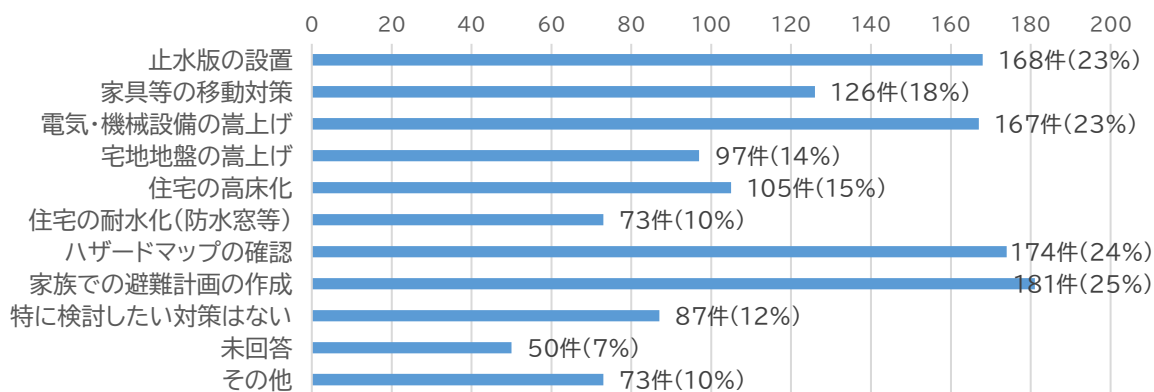


n=718

問16 今後、浸水に備えて新たに検討したい、もしくは追加で実施したい対策はありますか。

(3つまで選択可)

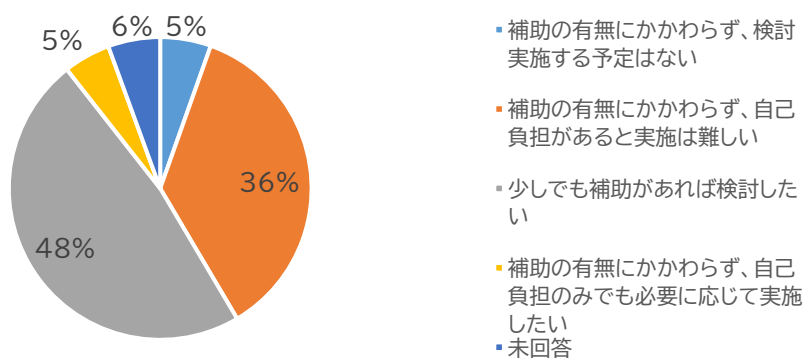
新たに検討したい、もしくは追加で実施したい対策を尋ねたところ、「家族での避難計画の作成」と答えた世帯が181件、「家族での避難計画の作成」が174件となっている。



問17 ご自身で住宅の浸水対策を行う場合の費用負担についてどのように考えますか。(1つ選択)

選択)

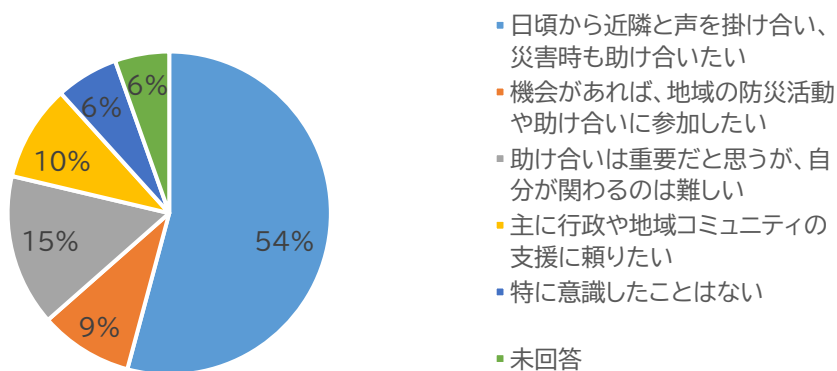
浸水対策を行う場合の費用負担について尋ねたところ、「少しでも補助があれば検討したい」が48%、「補助の有無にかかわらず、自己負担があると実施は難しい」が36%となっている。



n=718

問18 豪雨・浸水時に備えて、近隣住民や地域での助け合い(共助)について、あなたの考えに近いものを教えてください。(1つ選択)

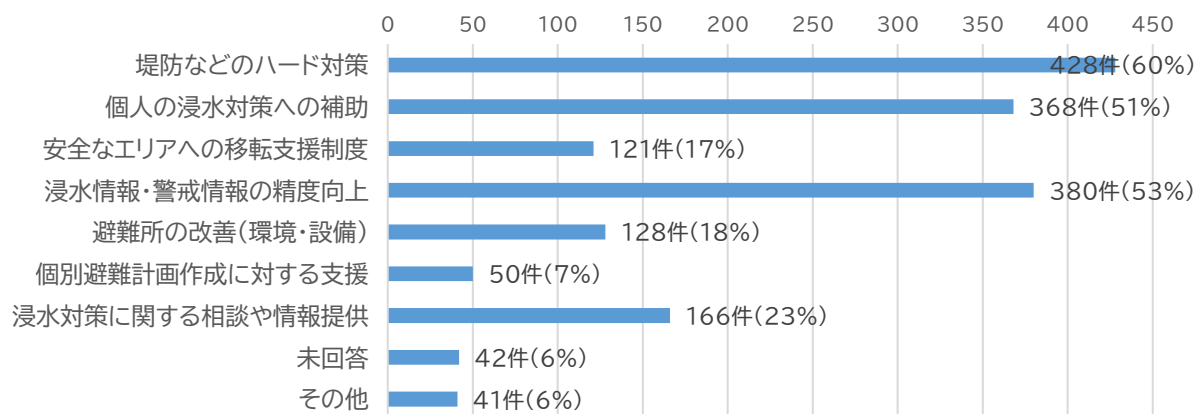
近隣住民や地域での助け合い(共助)について尋ねたところ、「日頃から近隣と声を掛け合い、災害時も助け合いたい」と答えた割合が 54%となっている。



n=718

問19 豪雨・浸水対策として、行政に特に期待する取組を教えてください。(複数選択可)

行政に特に期待する取組について尋ねたところ、「堤防などのハード対策」と答えた世帯は 428 件、「浸水情報・警戒情報の精度向上」と答えた件数は 380 件、「個人の浸水対策への補助」と答えた件数は 368 件となっている。



問20 浸水対策など、そのほかご意見がある方はご記入ください。(自由記述)

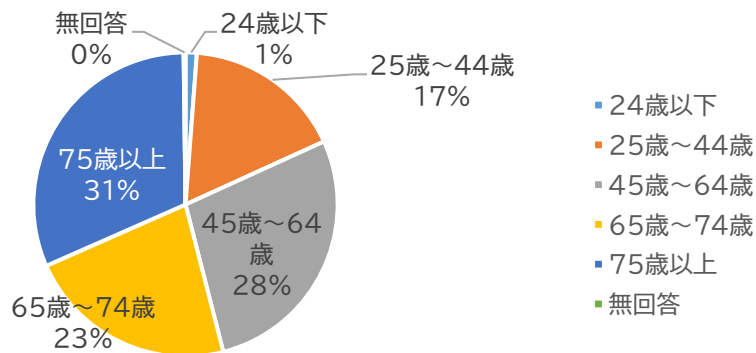
- ① 排水対策・内水氾濫対策の強化を求めめるご意見
 - ・排水路・側溝整備の要望
 - ・排水ポンプ機能の改善
 - ・河川や水路の維持管理強化
- ② 浸水情報・避難情報の充実を求めめるご意見
 - ・気づいたときには避難できない状況だった
 - ・地域ごとの危険度が分かりにくい
 - ・もっと早い情報発信が必要
- ③ 再発への不安に関するご意見
 - ・また同じ被害が起こるのではないか
 - ・対策が進んでいるのか分からない
 - ・市からの説明が不足している
- ④ 住宅対策・生活再建への支援を求めめるご意見
 - ・止水板設置への補助
 - ・住宅改修支援
 - ・駐車場嵩上げへの支援
 - ・修繕費負担の軽減
- ⑤ 高齢者等の避難支援に関するご意見
 - ・高齢者だけでは避難が難しい
 - ・一人暮らし世帯への支援が必要
 - ・短時間豪雨では逃げる時間がない

■洪水・高潮の浸水深3m以上の区域に居住する世帯の特性

1. 回答者の属性

問1 あなたの年齢を教えてください。(1つ選択)

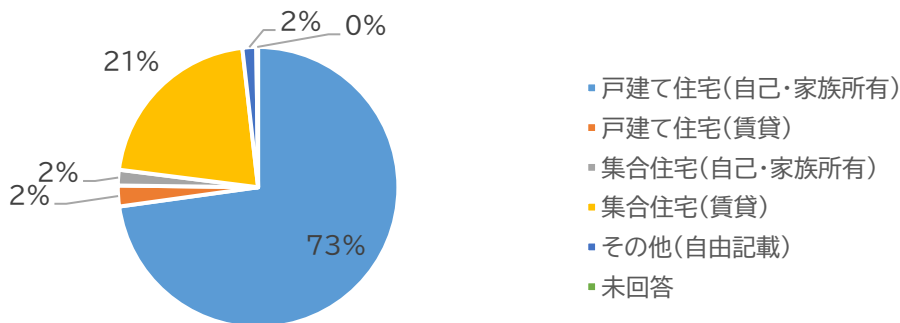
年齢について尋ねたところ、「25歳～44歳」と答えた割合が17%、「45歳～64歳」と答えた割合が28%、「65歳～74歳」と答えた割合が23%、「75歳以上」と答えた割合が31%となっている。



n=500

問2 現在のお住まいはどのような形態ですか。(1つ選択)

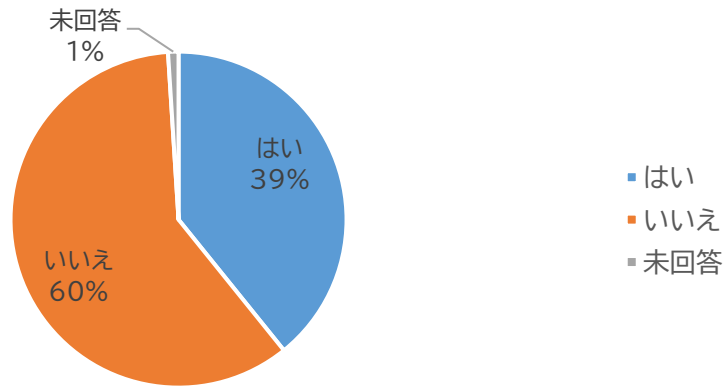
居住形態について尋ねたところ、「戸建て(自己・家族所有)」と答えた割合が73%となっている。



n=500

問3 世帯の中に、災害時の避難において、特に配慮が必要な方はいらっしゃいますか。(1つ選択)

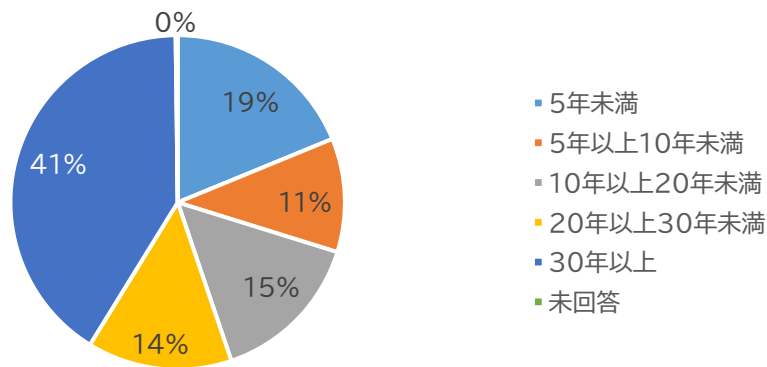
災害時の避難における要配慮者(高齢者、未就学児等)の有無を尋ねたところ、「はい」と答えた割合が39%、「いいえ」と答えた割合が60%となっている。



n=500

問4 現在のお住まいには、どれくらいの期間お住まいですか。

居住期間を尋ねたところ、「30年以上」と答えた割合が41%、次いで「5年以上10年未満」と答えた割合が11%となっている。

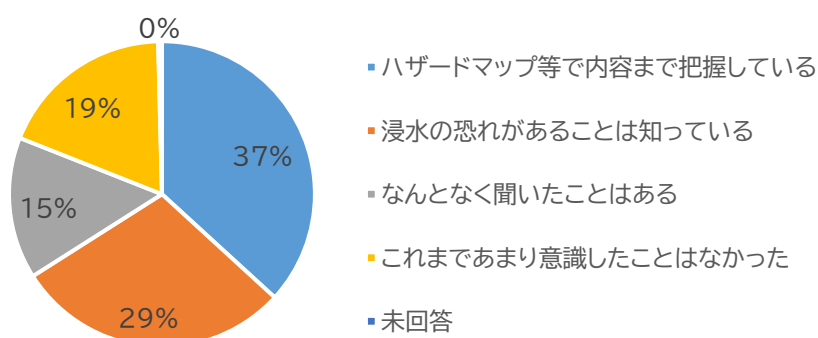


n=500

2. 回答者の防災意識

問5 洪水や高潮などにより、ご自宅やその周辺がどの程度浸水するかご存じですか。(1つ選択)

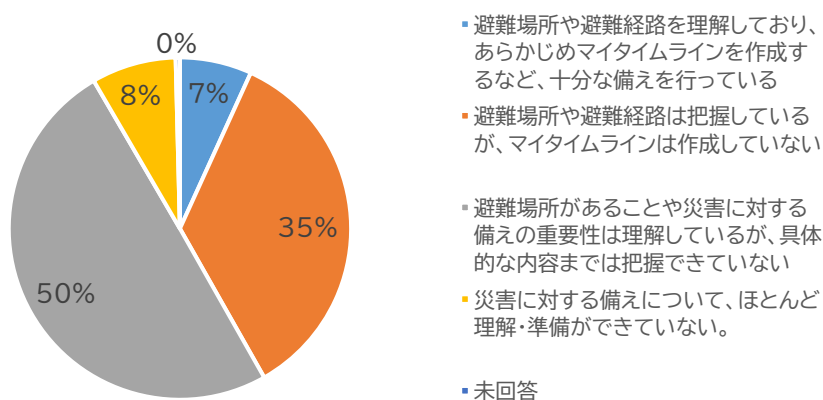
洪水や高潮発生時の浸水リスクに対する意識調査を行ったところ、「ハザードマップ等で内容まで把握している」と答えた割合が37%、「浸水のおそれがあることは知っている」と答えた割合が29%となっている。



n=500

問6 災害発生時に備えた準備状況について、最も近いものを選択してください。(1つ選択)

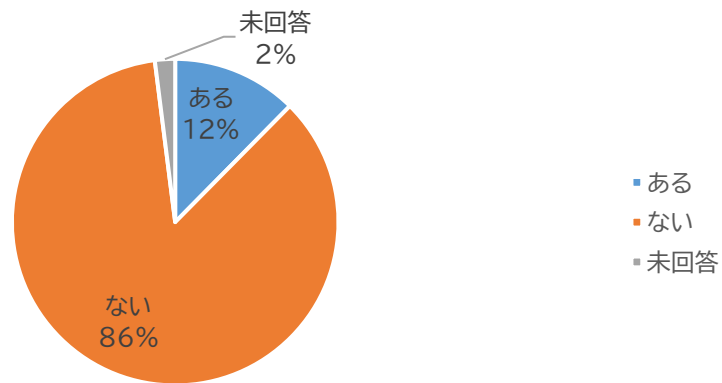
災害発生時における備蓄・準備状況について尋ねたところ、「避難場所があることや災害に対する備えの重要性は理解しているが、具体的な内容までは把握できていない」と答えた割合が50%、「避難場所や避難経路は把握しているが、マイタイムライン(自分や家族の避難行動計画)は作成していない」と答えた割合が35%となっている。



n=500

問7 これまでに、お住まいの場所で、浸水による被害を経験したことはありますか。(1つ選択)

浸水被害の有無を尋ねたところ、「ある」と答えた割合が12%、「ない」と答えた割合が86%となっている。

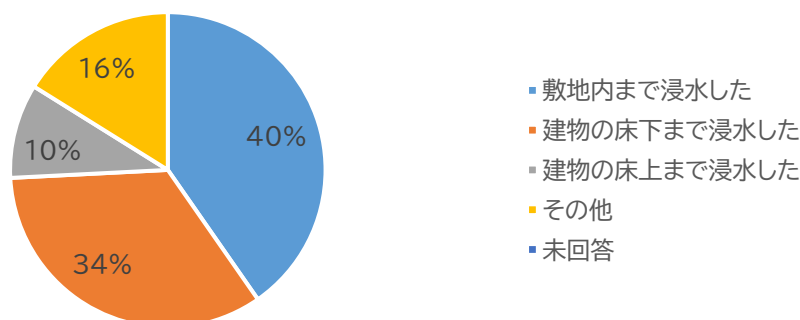


n=500

5. 浸水経験者のニーズ

問8 浸水した際の状況について、最も近いものを教えてください。(1つ選択)

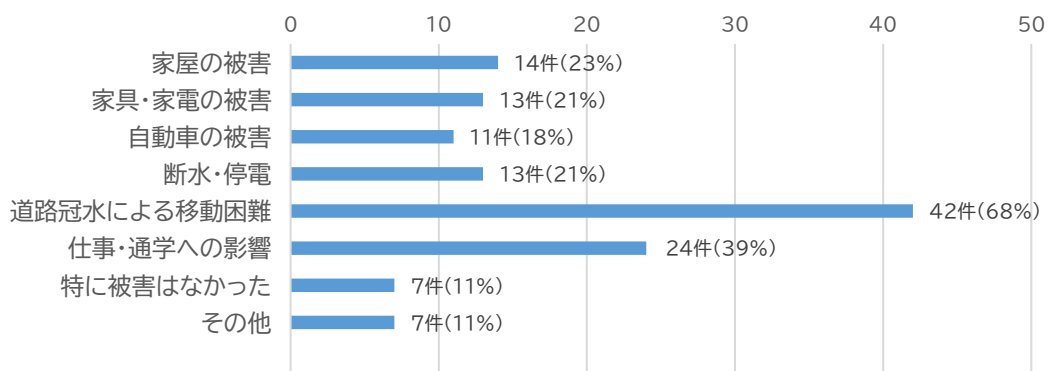
浸水被害を経験したことがあると答えた世帯に、浸水したときの状況について尋ねたところ、「建物内まで浸水した」と答えた割合が40%、「建物の床下まで浸水した」と答えた割合が34%となっている。



n=62

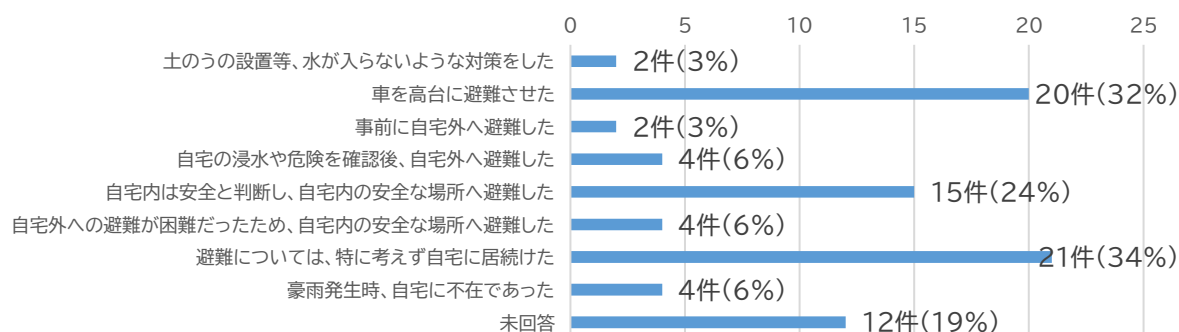
問9 浸水時、どのような被害が発生しましたか。(複数選択可)

浸水被害を経験したことがあると答えた世帯に、浸水後の被害状況を尋ねたところ、「道路冠水による移動困難」と答えた世帯が42件と最も高く、次いで「仕事・通学への影響」と答えた世帯が24件となっている。



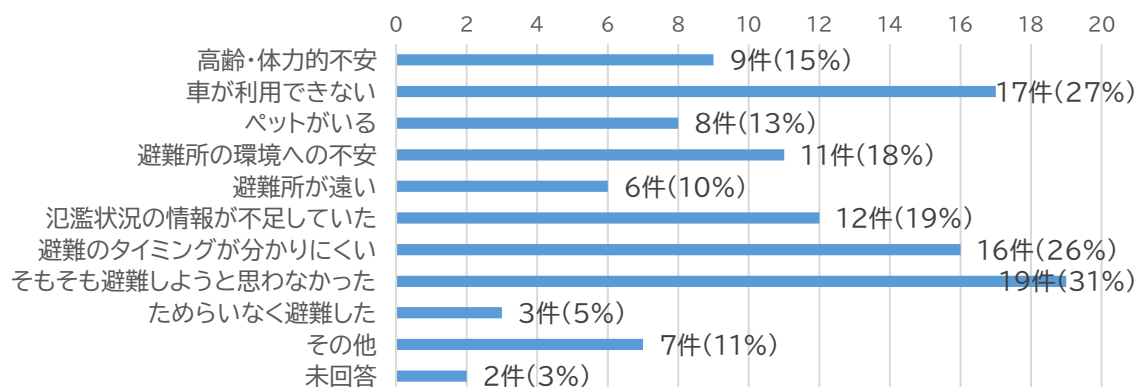
問10 浸水時、あなた(ご家族を含む)はどのような行動をとりましたか(複数選択可)

浸水被害を経験したことがあると答えた世帯に、浸水時にとった行動について尋ねたところ、「避難については、特に考えず自宅に居続けた」と答えた世帯が 21 件、「車を高台に避難させた」と答えた世帯が 20 件となっている。



問11 自宅外への避難行動が難しかった、またはためらいを感じた理由があれば教えてください。(複数選択可)

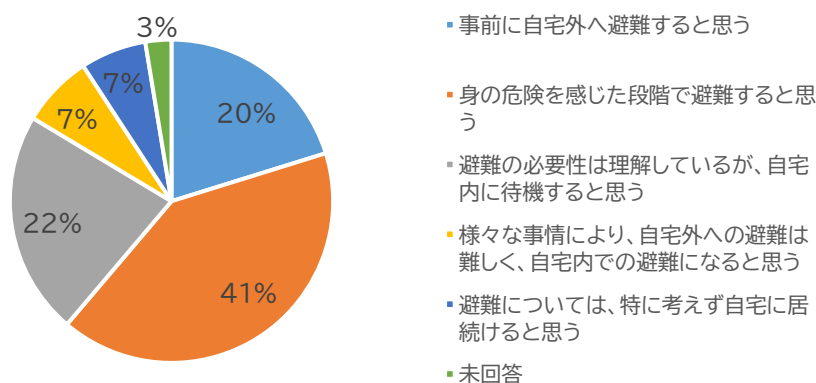
浸水被害を経験したことがあると答えた世帯に、自宅外への避難が困難だった理由、ためらいを感じた理由について尋ねたところ、「そもそも避難しようと思わなかった」と答えた世帯が 19 件、「車が利用できない」が 17 件となっている。



6. 今後の浸水対策について

問12 今後、豪雨により浸水の恐れがある場合、あなた(ご家族を含む)はどのような行動をとると思いますか。(1つ選択)

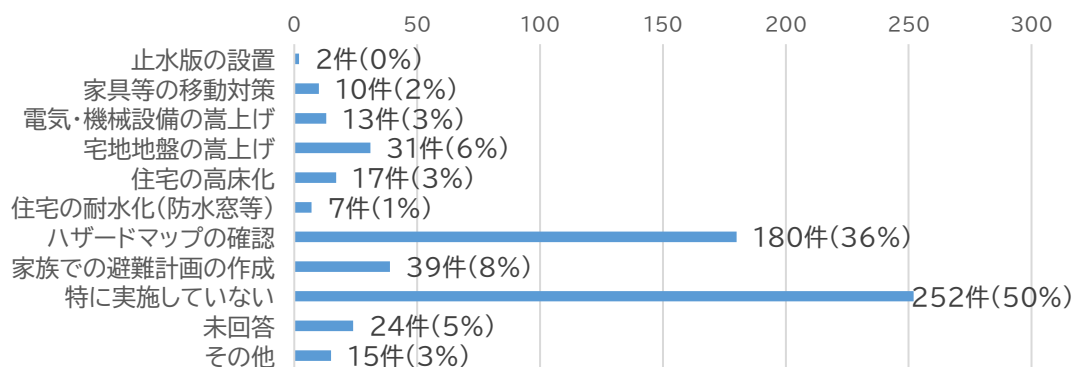
豪雨による浸水の恐れがある場合における今後の避難行動について、「被災経験者は前回の経験を踏まえ、未経験者は想定の上で回答する」ことを条件に尋ねたところ、「身の危険を感じた段階で避難すると思う」と答えた割合が41%、「避難の必要性は理解しているが、自宅内に待機すると思う」が22%となっている。



n=500

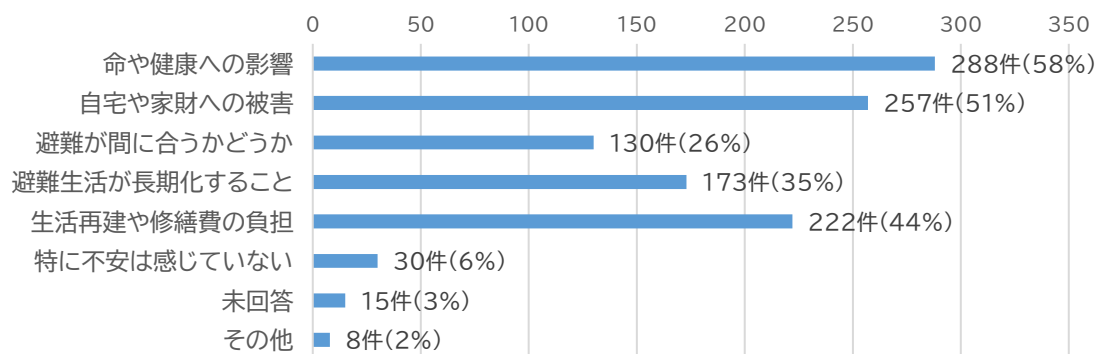
問13 現在、浸水に備えて実施している対策はありますか。(複数選択可)

浸水対策について実施している対策を尋ねたところ、「特に実施していない」と答えた世帯が252件、「ハザードマップの確認」が180件となっている。



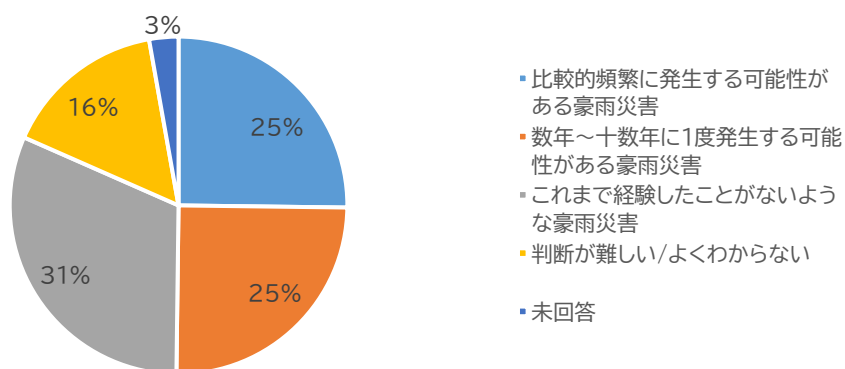
問14 豪雨が発生した場合、特に不安に感じることはなんですか。(3 つまで選択可)【※被災経験のある方は「前回の経験を踏まえて」、ない方は「想定して」お答えください】

豪雨発生時に不安に感じることを尋ねたところ、「命や健康への影響」と答えた世帯が 288 件、「自宅や家財への被害」が 257 件となっている。



問15 あなたが今後、浸水対策を検討すると想定した場合、特に重視する災害の頻度や規模についてあなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。(1 つ選択)

特に重視する災害の頻度や規模について尋ねたところ、「これまで経験したことがないような豪雨災害」と答えた割合が31%、「比較的頻繁に発生する可能性がある豪雨災害」「数年～十数年に1度発生する可能性がある豪雨災害」が 25%となっている。

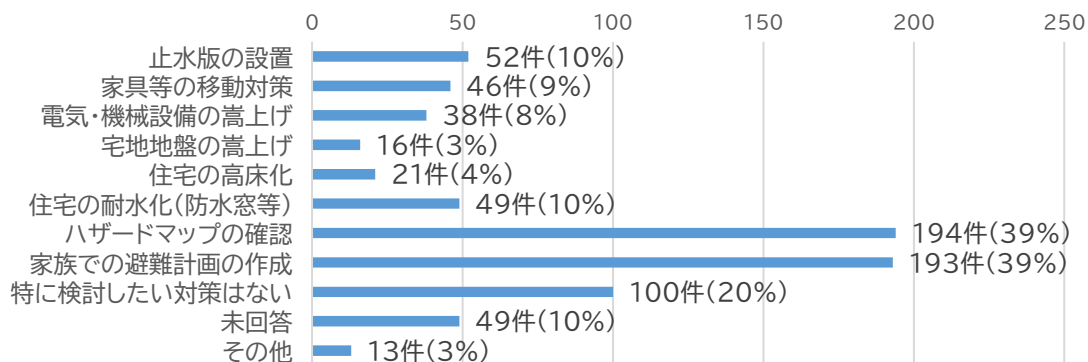


n=500

問16 今後、浸水に備えて新たに検討したい、もしくは追加で実施したい対策はありますか。

(3つまで選択可)

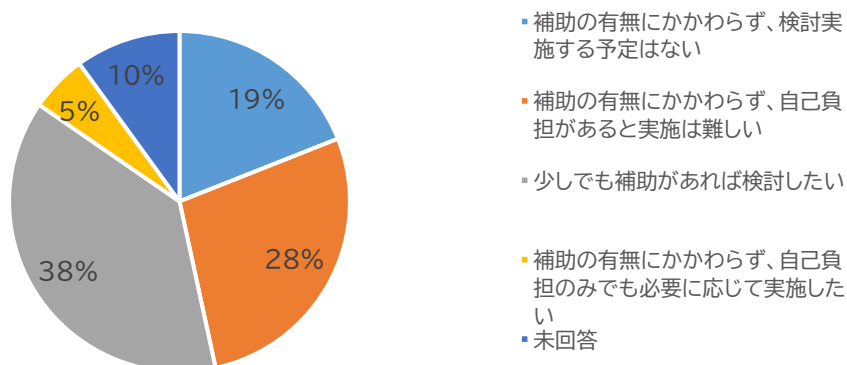
新たに検討したい、もしくは追加で実施したい対策を尋ねたところ、「ハザードマップの確認」と答えた世帯が194件、「家族での避難計画の作成」が193件となっている。



問17 ご自身で住宅の浸水対策を行う場合の費用負担についてどのように考えますか。(1つ

選択)

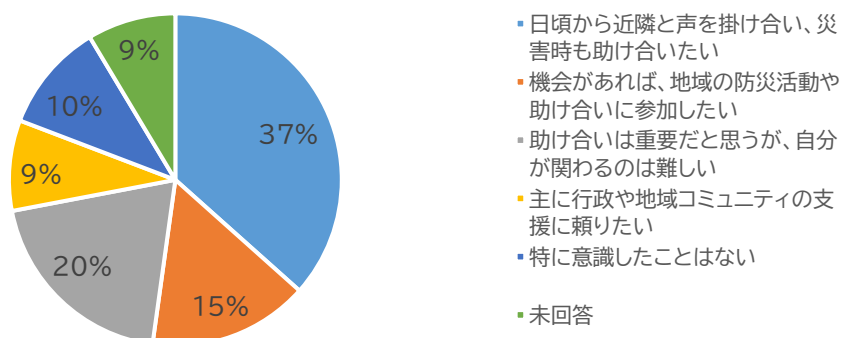
浸水対策を行う場合の費用負担について尋ねたところ、「少しでも補助があれば検討したい」が38%、「補助の有無にかかわらず、自己負担があると実施は難しい」が28%となっている。



n=500

問18 豪雨・浸水時に備えて、近隣住民や地域での助け合い(共助)について、あなたの考えに近いものを教えてください。(1つ選択)

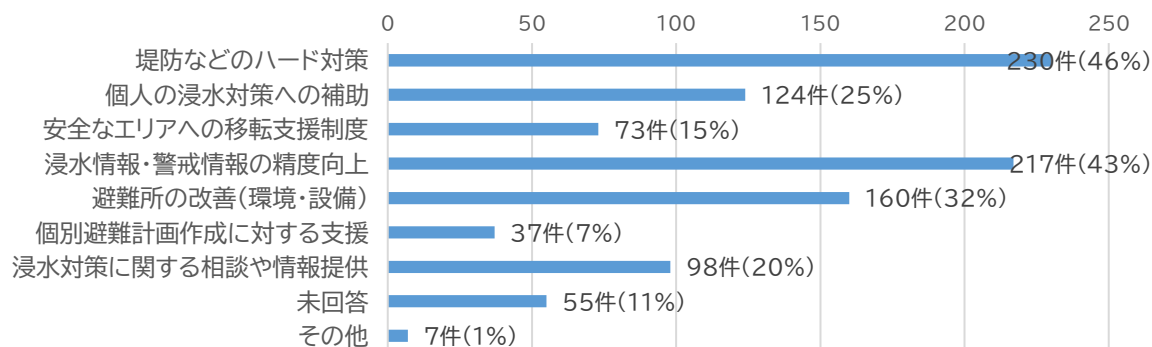
近隣住民や地域での助け合い(共助)について尋ねたところ、「日頃から近隣と声を掛け合い、災害時も助け合いたい」と答えた割合が 37%となっている。



n=500

問19 豪雨・浸水対策として、行政に特に期待する取組を教えてください。(複数選択可)

行政に特に期待する取組について尋ねたところ、「堤防などのハード対策」と答えた世帯は 230 件、「浸水情報・警戒情報の精度向上」と答えた件数は 217 件となっている。



問20 浸水対策など、そのほかご意見がある方はご記入ください。(自由記述)

① 排水対策・内水氾濫対策の強化に関するご意見

- ・排水路・側溝整備の要望
- ・排水ポンプ機能の改善
- ・慢性的な道路冠水対策
- ・河川や水路の維持管理強化

② 浸水情報・避難情報の充実に関するご意見

- ・気づいたときには避難できない状況だった

- ・地域ごとの危険度が分かりにくい
- ・より早い情報発信が必要
- ③ 生活再建や修繕費への不安に関するご意見
 - ・自宅や家財への被害があり、修繕費や生活再建費用の負担が大きかった
 - ・止水板設置への補助・住宅改修支援・駐車場嵩上げ支援を行ってほしい。
- ④ 避難への不安・高齢者支援に関するご意見
 - ・避難する時間がなかった
 - ・高齢者だけでの避難は難しい
 - ・一人暮らし世帯への支援が必要
- ⑤ 地域での助け合い・共助の必要性
 - ・日頃から声を掛け合いたい
 - ・災害時は地域で助け合うことが重要だと思う

■令和7年8月豪雨によるり災世帯における特性と

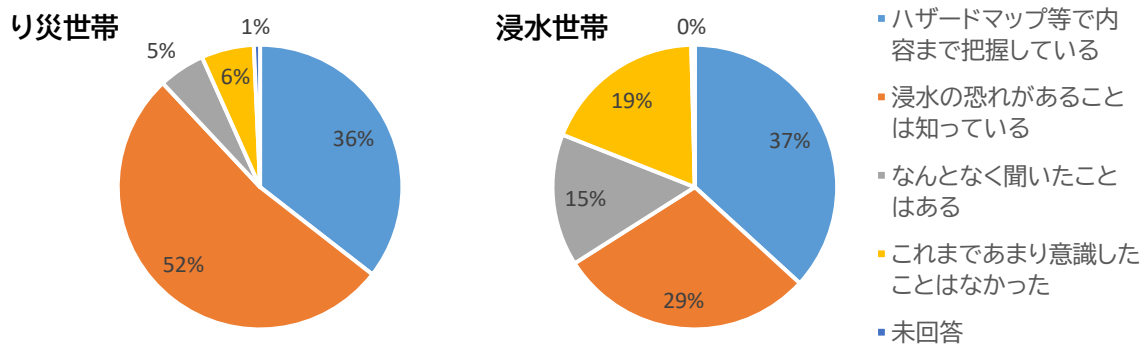
洪水・高潮の浸水深3m以上の区域に居住する世帯の特性の比較

※以下、令和7年8月豪雨によるり災世帯→「り災世帯」、洪水・高潮の浸水深3m以上の区域に居住する世帯→「浸水世帯」と記載する。

※問1～問4は属性情報の為、省略

問5 洪水や高潮などにより、ご自宅やその周辺がどの程度浸水するかご存じですか。(1つ選択)

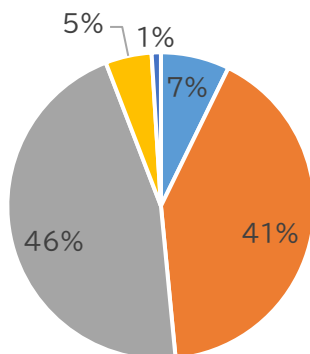
「ハザードマップ等で内容まで把握している」「浸水の恐れがあることは知っている」といった浸水リスクに対する認知度については、り災世帯が89%であるのに対し、浸水世帯は66%となっており、両者の間に差が見られる。



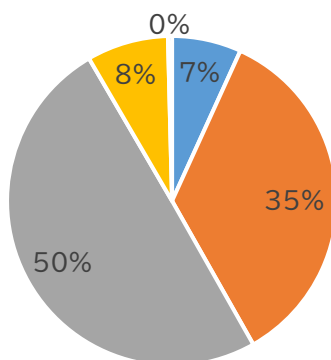
問6 災害発生時に備えた準備状況について、最も近いものを選択してください。(1つ選択)

り災世帯と浸水世帯に大きな違いはみられない。両者とも、避難場所や避難経路の把握は進んでいる一方で、マイタイムラインの作成まで至っている世帯は少ない状況にある。

り災世帯



浸水世帯

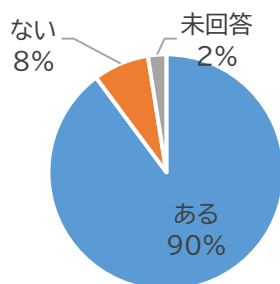


- 避難場所や避難経路を理解しており、あらかじめマイタイムラインを作成するなど、十分な備えを行っている
- 避難場所や避難経路は把握しているが、マイタイムラインは作成していない
- 避難場所があることや災害に対する備えの重要性は理解しているが、具体的な内容までは把握できていない
- 災害に対する備えについて、ほとんど理解・準備ができていない。
- 未回答

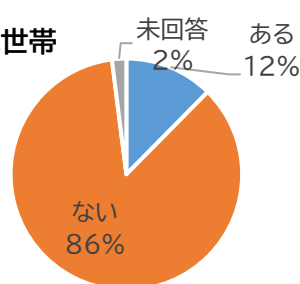
問7 これまでに、お住まいの場所で、浸水による被害を経験したことはありますか。(1つ選択)

り災世帯と浸水世帯に違いがみられるが、これは、り災世帯が令和7年8月豪雨においてり災証明を発行した世帯を対象としていることによるものであるが、浸水深3m以上の区域での浸水経験は非常に少ない状況にある。

り災世帯



浸水世帯

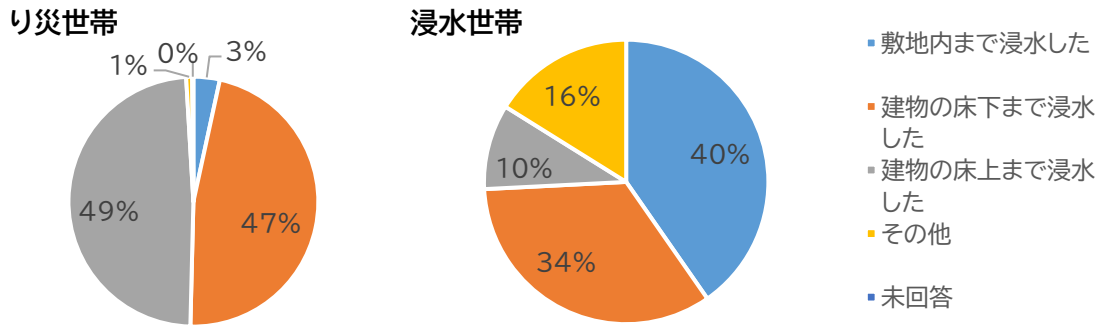


- ある
- ない
- 未回答

問 8 浸水した際の状況について、最も近いものを教えてください。(1つ選択)

り災世帯と浸水世帯に大きな違いがみられる。

り災世帯は、建物の床上または床下浸水が中心であるのに対し、浸水世帯は、敷地内までの浸水や建物の床下浸水に留まるケースが多い。

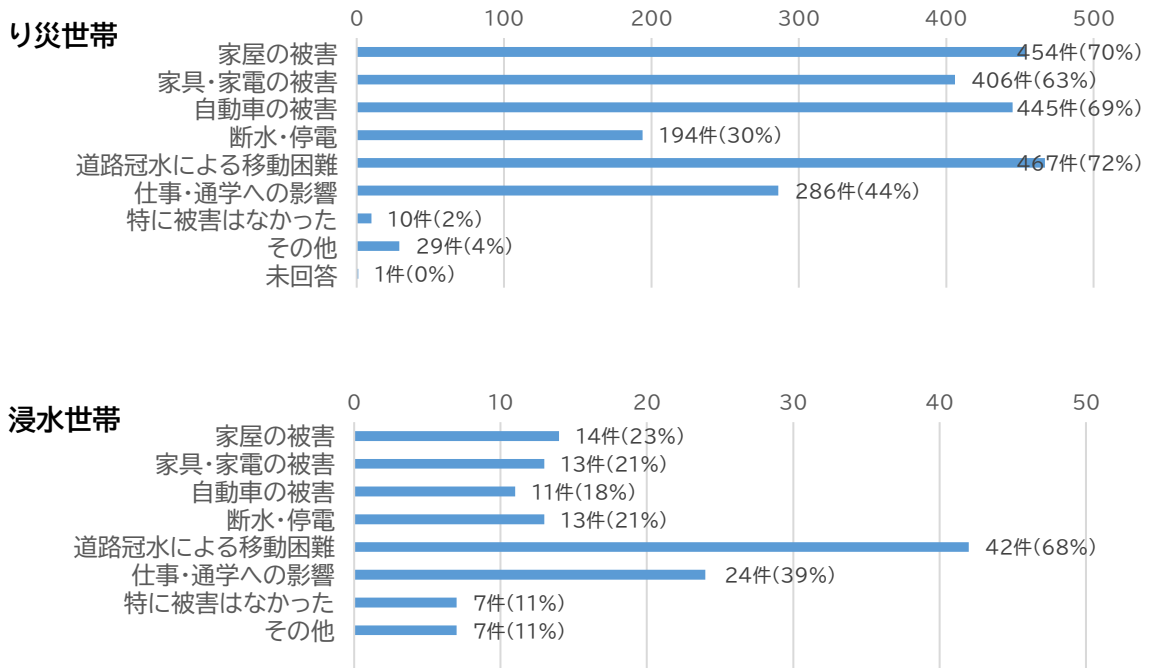


問 9 浸水時、どのような被害が発生しましたか。(複数選択可)

り災世帯と浸水世帯に大きな違いがみられる。

り災世帯は、これまでの浸水被害の経験から、建物の床上または床下浸水が中心であったことにより、家屋の被害のほか家具・家電の被害や自動車への被害が多く発生している。

一方、浸水世帯は、家屋や家具・家電等への被害は見られるものの、主な被害は道路冠水による移動困難となっている。

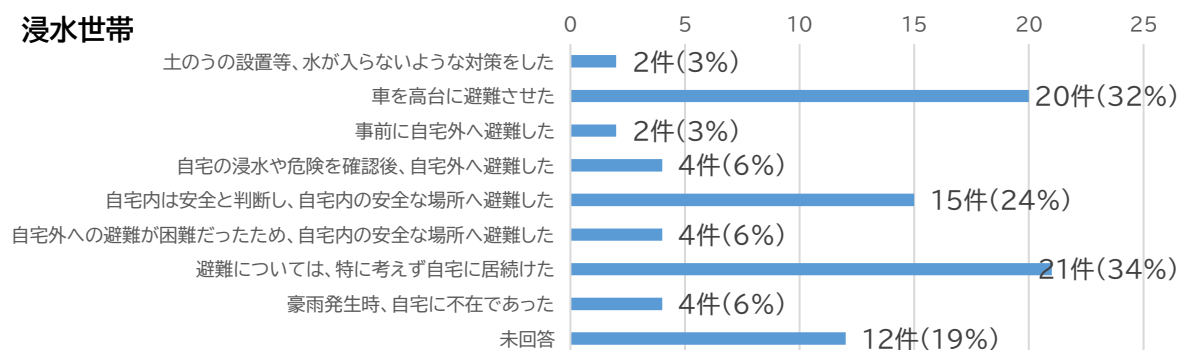
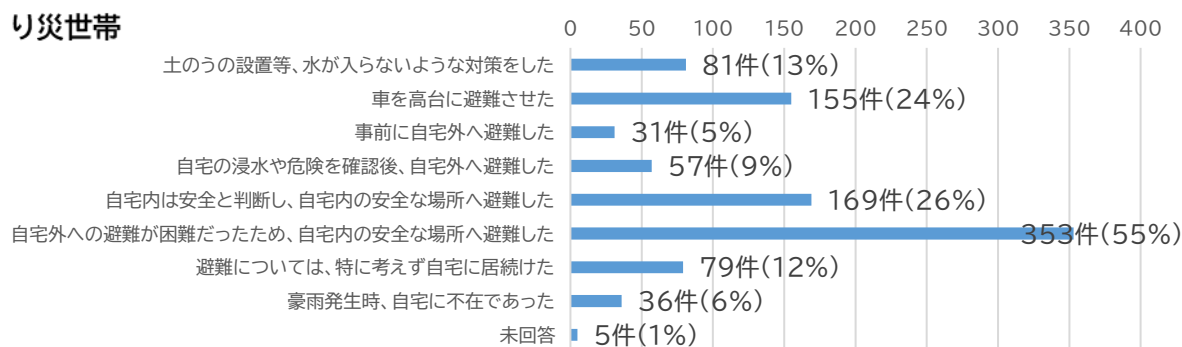


問10 浸水時、あなた(ご家族を含む)はどのような行動をとりましたか(複数選択可)

り災世帯と浸水世帯に違いがみられる。

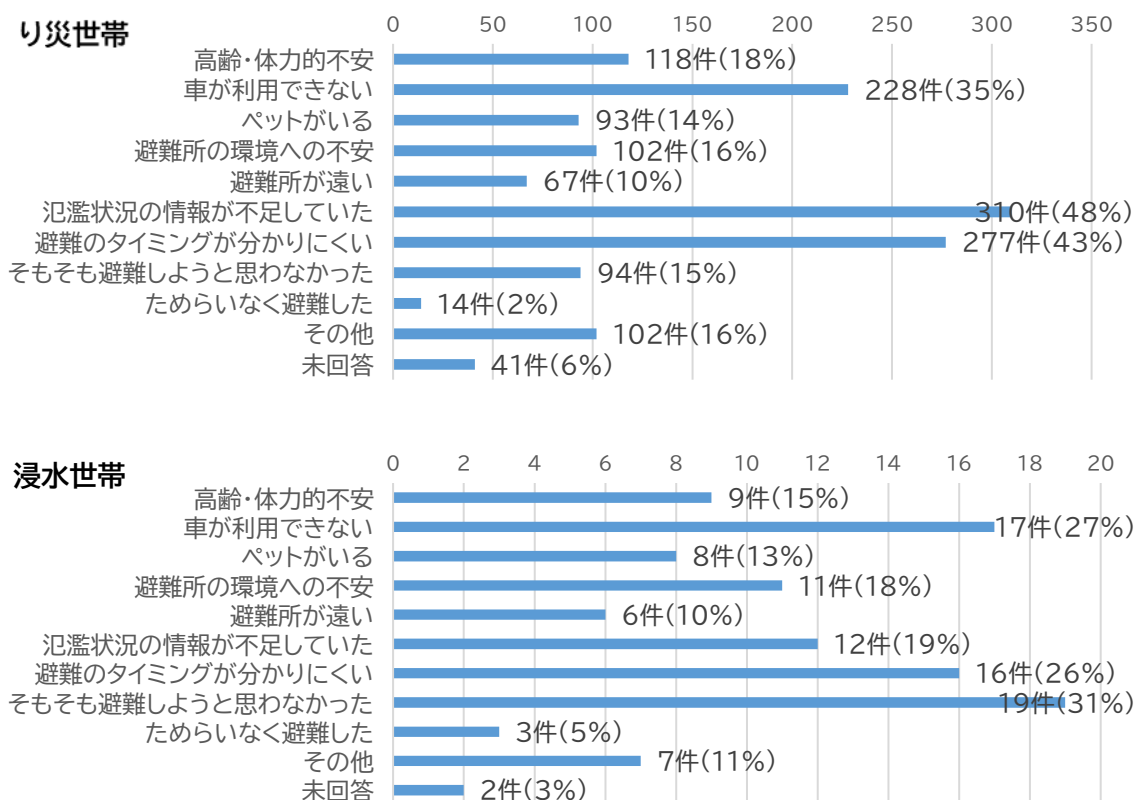
り災世帯は自宅外への避難が困難だったため自宅内の安全な場所へ避難した世帯が多く、避難については特に考えず自宅に居続けたと答えた世帯のように、避難を考えていない世帯は少ない傾向にある。

一方、浸水世帯は、避難を考えていない世帯が最も多い傾向にある。



問11 自宅外への避難行動が難しかった、またはためらいを感じた理由があれば教えてください。(複数選択可)

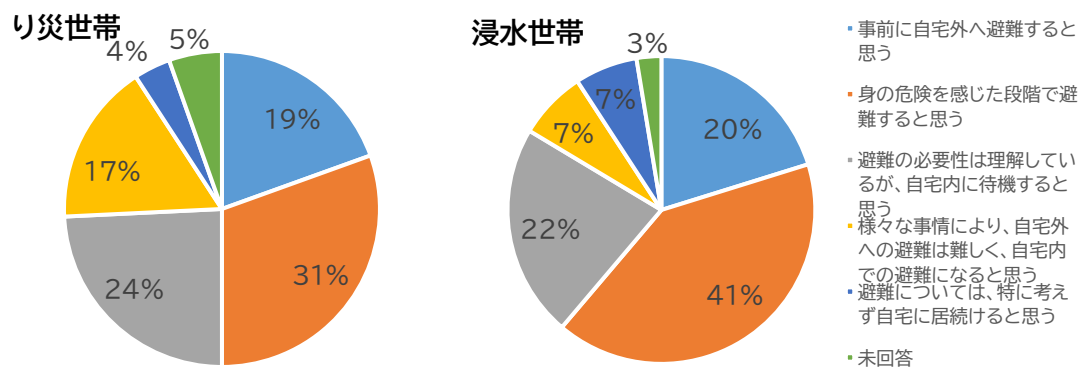
り災世帯と浸水世帯いずれも氾濫状況の情報不足避難のタイミングが分かりづらいという意見が多く見られた。加えて、車が利用できないと回答する世帯も多く、避難行動に影響を与えていたと考えられる。



問12 今後、豪雨により浸水の恐れがある場合、あなた(ご家族を含む)はどのような行動をとると思いますか。(1つ選択)

り災世帯と浸水世帯いずれも「身の危険を感じた段階で避難すると思う」と答えた世帯が多く見られた。

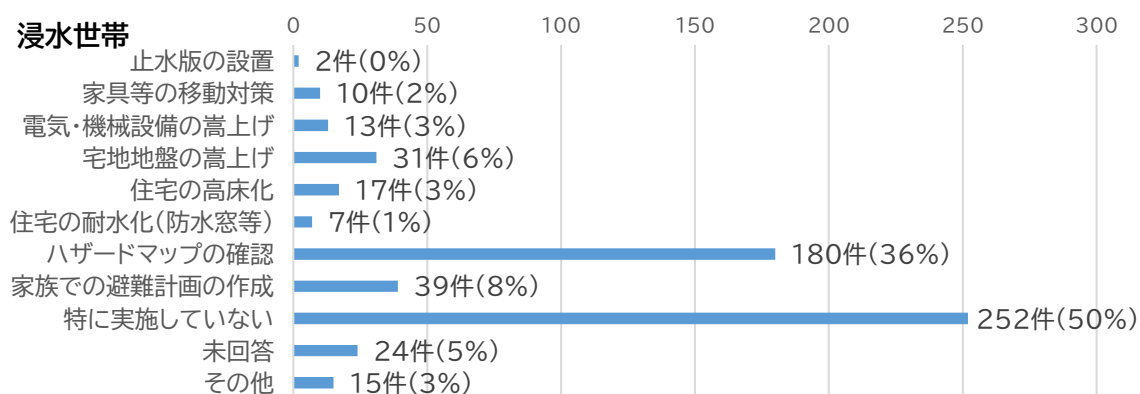
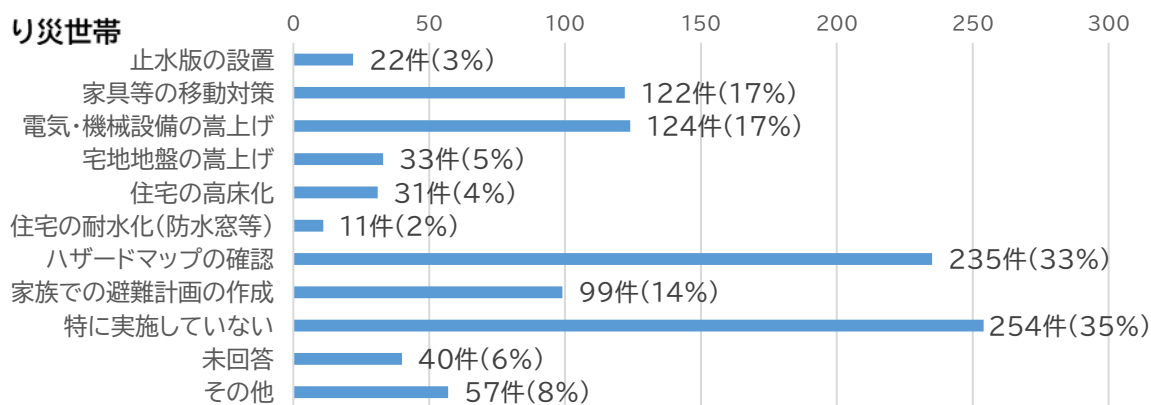
り災世帯はこれまでの浸水経験が多いにもかかわらず、「事前に自宅外へ避難すると思う」と答えた世帯は少なく、これは、氾濫状況に関する情報不足や避難のタイミングの判断が難しいことが影響していると考えられる。



問13 現在、浸水に備えて実施している対策はありますか。(複数選択可)

り災世帯と浸水世帯いずれも「ハザードマップの確認」と答えた世帯が多く見られた。

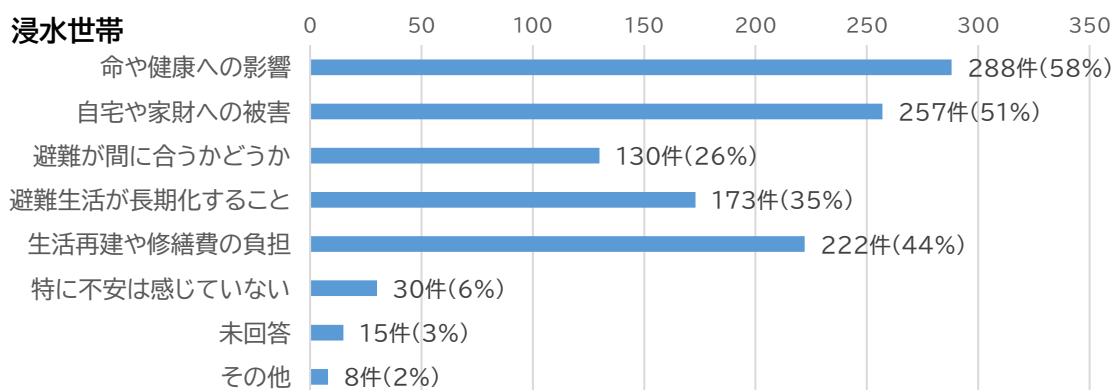
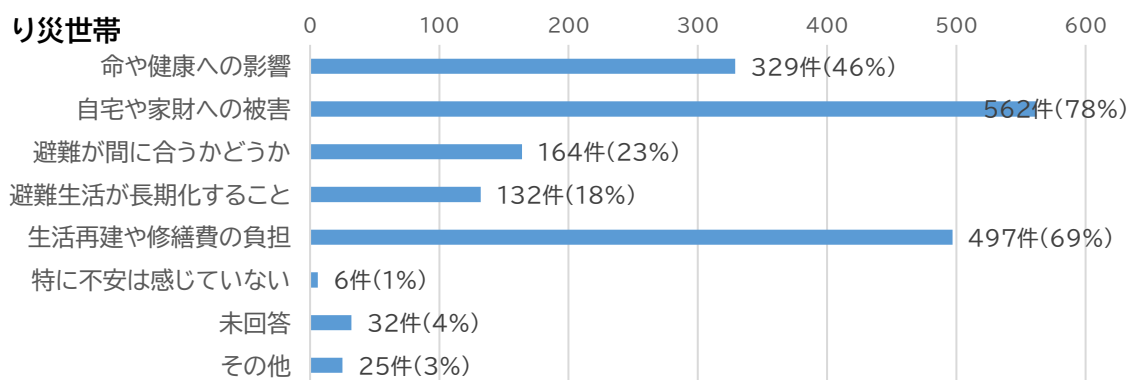
り災世帯はこれまでの浸水経験を踏まえ、家具等の移動対策や電気設備等の嵩上げなど具体的を講じている世帯が多く見られた。



問14 豪雨が発生した場合、特に不安に感じることはなんですか。(3 つまで選択可)【※被災経験のある方は「前回の経験を踏まえて」、ない方は「想定して」お答えください】

り災世帯はこれまでの浸水経験を踏まえ、「命や健康への影響」よりも「自宅や家財への被害」、「生活再建や修繕費の負担」への懸念が多く見られた。

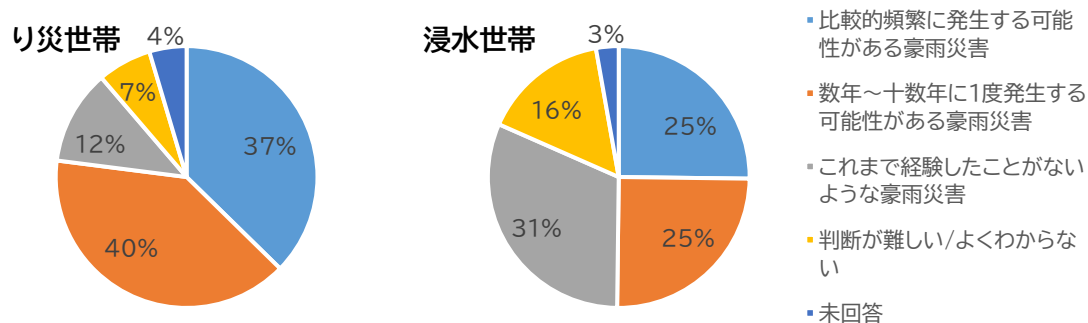
一方、浸水世帯は、これまでの浸水経験が少ないことが影響しているのか、次ページの問15にもあるように、「これまで経験したことがないような豪雨災害」への不安が強く、「命や健康への影響」を重視する傾向が見られる。



問15 あなたが今後、浸水対策を検討すると想定した場合、特に重視する災害の頻度や規模についてあなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。(1つ選択)

り災世帯は「比較的頻繁に発生する可能性がある豪雨災害」や「数年～十数年に1度発生する可能性がある豪雨災害」を重視する傾向が多く見られる。

一方、浸水世帯は「これまで経験したことがないような豪雨災害」を重視する傾向が見られる。

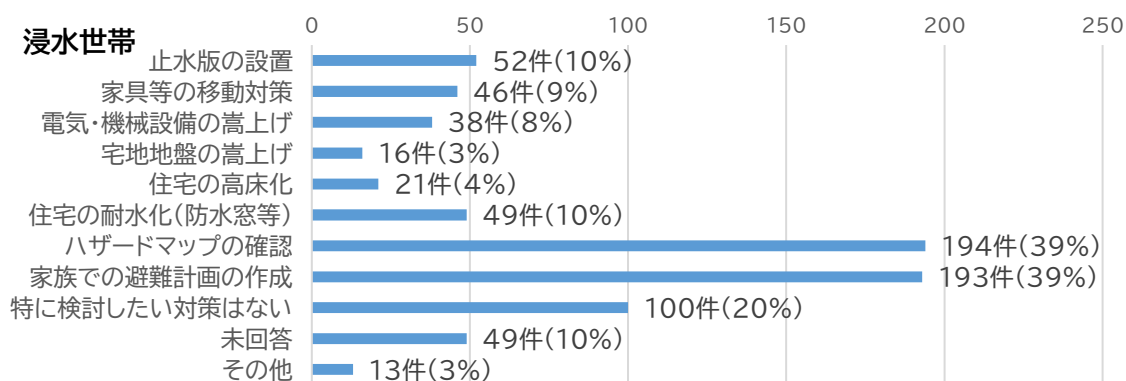
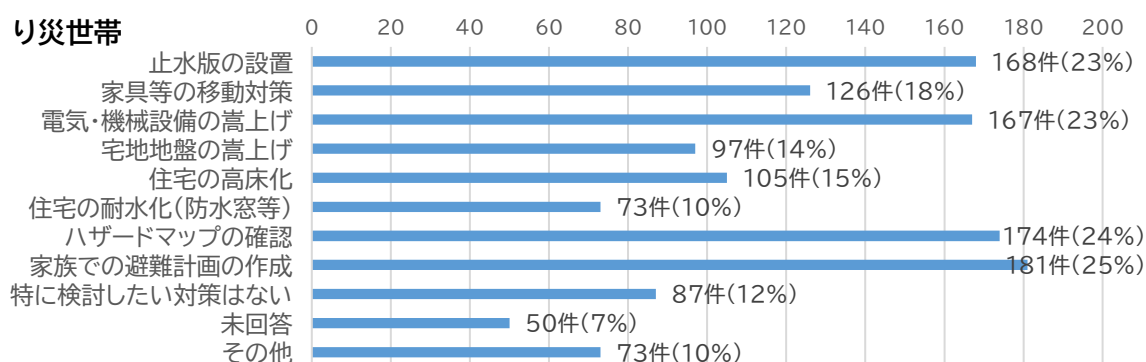


問16 今後、浸水に備えて新たに検討したい、もしくは追加で実施したい対策はありますか。

(3つまで選択可)

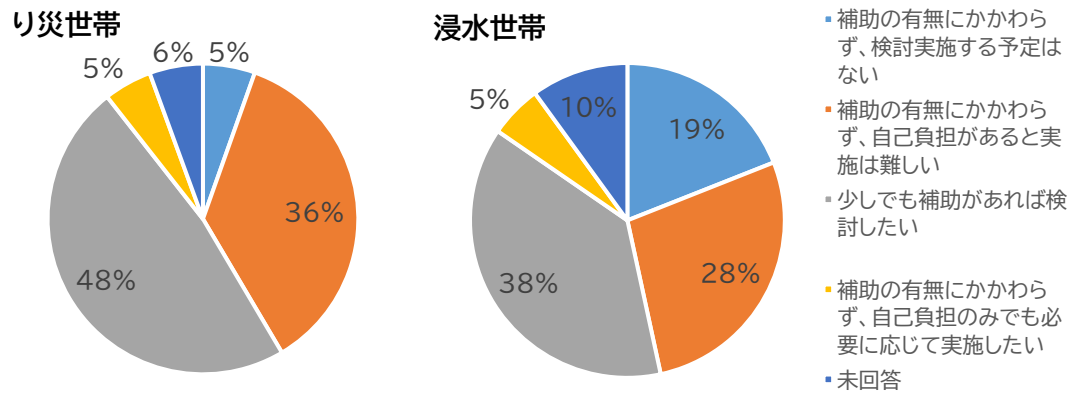
り災世帯は「止水版の設置」、「家具等の移動対策」等のこれまでの浸水経験を踏まえた具体的な対策へのニーズが多く見られるほか、「宅地地盤の嵩上げ」や「住宅の高床化」などの構造的対策にも一定のニーズが見られる。

一方、浸水世帯は「ハザードマップの確認」や「家族での避難計画の策定」といったソフト対策へのニーズが中心であり、これらの対策は、り災世帯にも共通して多く見られる。



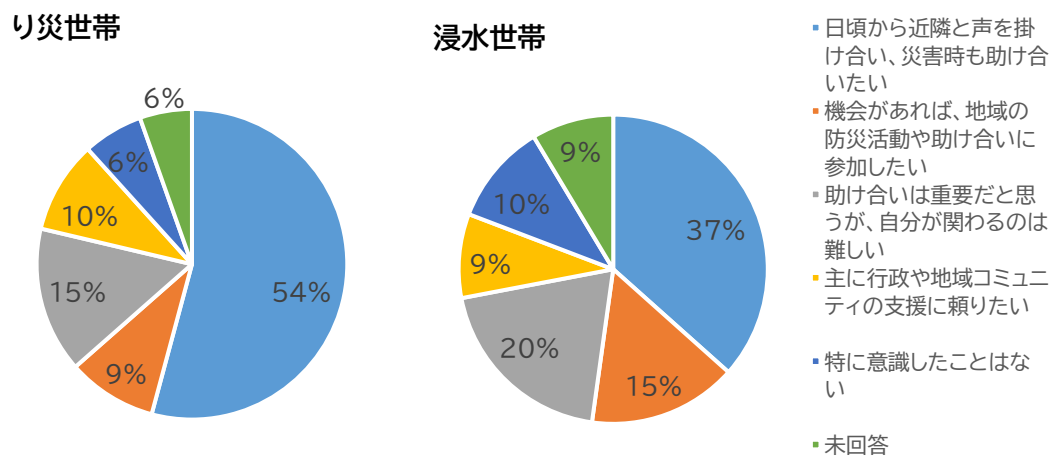
問17 ご自身で住宅の浸水対策を行う場合の費用負担についてどのように考えますか。(1つ選択)

り災世帯と浸水世帯に大きな違いは見られない。いずれも、「少しでも補助があれば検討したい」と回答した世帯が多く見られる。



問18 豪雨・浸水時に備えて、近隣住民や地域での助け合い(共助)について、あなたの考えに近いものを教えてください。(1つ選択)

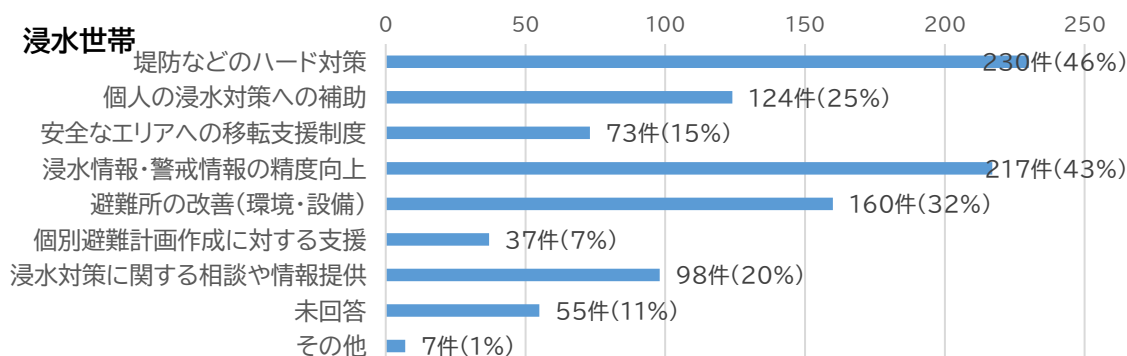
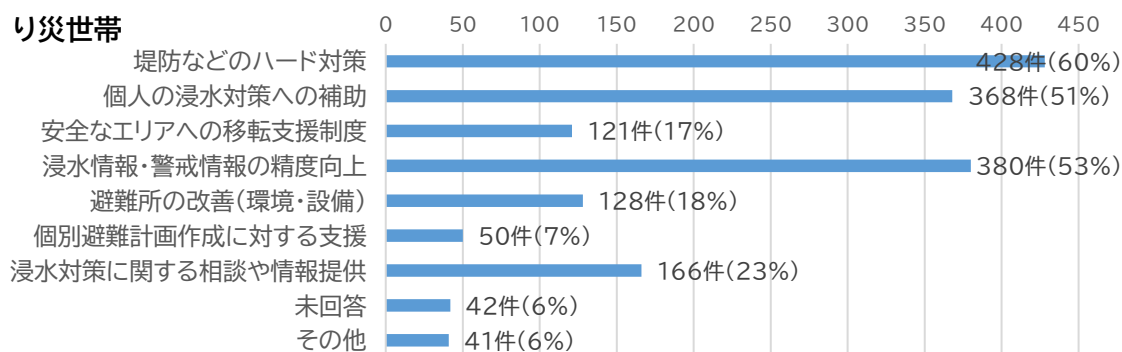
り災世帯と浸水世帯に大きな違いは見られない。いずれも、「日頃から近隣と声を掛け合い、災害時も助け合いたい」と答えた世帯が多く見られる。



問19 豪雨・浸水対策として、行政に特に期待する取組を教えてください。(複数選択可)

り災世帯は「個人の浸水対策への補助」、浸水世帯は「避難所の改善(環境・設備)」を求める世帯が多く見られる。

り災世帯と浸水世帯のいずれも共通して「堤防などのハード対策」や「浸水情報・警戒情報の精度向上」を求める世帯が多く見られる。



Ⅲ. 調査票

浸水対策検討に向けたアンケート調査

※該当する選択肢の番号に○を付けてください。

- Q1. あなたの年齢を教えてください。(1つ選択)
- (1) 24歳以下
 - (2) 25歳～44歳
 - (3) 45歳～64歳
 - (4) 65歳～74歳
 - (5) 75歳以上
- Q2. 現在のお住まいはどのような形態ですか？(1つ選択)
- (1) 戸建て住宅(自己・家族所有)
 - (2) 戸建て住宅(賃貸)
 - (3) 集合住宅(自己・家族所有)
 - (4) 集合住宅(賃貸)
 - (5) その他(自由記載)
- Q3. 世帯の中に、災害時の避難において、特に配慮が必要な方はいらっしゃいますか。
(例：高齢の方、小さなお子さま、健康上の理由がある方 など)(1つ選択)
- (1) はい
 - (2) いいえ
- Q4. 現在のお住まいには、どれくらいの期間お住まいですか。(1つ選択)
- (1) 5年未満
 - (2) 5年以上10年未満
 - (3) 10年以上20年未満
 - (4) 20年以上30年未満
 - (5) 30年以上
- Q5. 洪水や高潮などにより、ご自宅やその周辺がどの程度浸水するかご存じですか。(1つ選択)
- (1) ハザードマップ等で内容まで把握している
 - (2) 浸水のおそれがあることは知っている
 - (3) なんとなく聞いたことはある
 - (4) これまであまり意識したことはなかった
- Q6. 災害発生時に備えた準備状況について、最も近いものを選択してください。(1つ選択)
- (1) 避難場所や避難経路を理解しており、あらかじめマイタイムライン(自分や家族の避難行動計画)を作成するなど、十分な備えを行っている
 - (2) 避難場所や避難経路は把握しているが、マイタイムライン(自分や家族の避難行動計画)は作成していない
 - (3) 避難場所があることや災害に対する備えの重要性は理解しているが、具体的な内容までは把握できていない
 - (4) 災害に対する備えについて、ほとんど理解・準備ができていない

Q7. これまでに、お住まいの場所で、浸水による被害を経験したことはありますか。(1つ選択)

- (1) ある ⇒ Q8へ
- (2) ない ⇒ Q12へ

Q8. 浸水した際の状況について、最も近いものを教えてください。(1つ選択)

- (1) 敷地内まで浸水した
- (2) 建物の床下まで浸水した
- (3) 建物の床上まで浸水した
- (4) その他(自由記述)

Q9. 浸水時、どのような被害が発生しましたか。(複数選択可)

- (1) 家屋の被害
- (2) 家具・家電の被害
- (3) 自動車の被害
- (4) 断水・停電
- (5) 道路冠水による移動困難
- (6) 仕事・通学への影響
- (7) 特に被害はなかった
- (8) その他(自由記述)

Q10. 浸水時、あなた(ご家族を含む)はどのような行動をとりましたか。(複数選択可)

- (1) 土のうの設置等、水が入らないような対策をした
- (2) 車を高台に避難させた
- (3) 事前に自宅外へ避難した
- (4) 自宅の浸水や危険を確認後、自宅外へ避難した
- (5) 自宅内は安全と判断し、自宅内の安全な場所へ避難した(自宅外への避難は不要と判断)
- (6) 自宅外への避難が困難だったため、自宅内の安全な場所(2階など)へ避難した
- (7) 避難については、特に考えず自宅に居続けた
- (8) 豪雨発生時、自宅に不在であった

Q11. 自宅外への避難行動が難しかった、またはためらいを感じた理由があれば教えてください。(複数選択可)

- (1) 高齢・体力的不安
- (2) 車が利用できない
- (3) ベットがいる
- (4) 避難所の環境への不安
- (5) 避難所が遠い
- (6) 氾濫状況の情報が不足していた
- (7) 避難のタイミングがわかりにくい
- (8) そもそも避難しようと思わなかった
- (9) ためらいなく避難した
- (10) その他(自由記述)

Q12 今後、豪雨により浸水のおそれがある場合、あなた（ご家族を含む）はどのような行動をとると思いますか。（1つ選択）

※被災経験のある方は「前回の経験を踏まえて」、ない方は「想定して」お答えください。

- (1) 事前に自宅外へ避難すると思う
- (2) 身の危険を感じた段階で避難すると思う
- (3) 避難の必要性は理解しているが、自宅内に待機すると思う
- (4) 様々な事情により、自宅外への避難は難しく、自宅内での避難になると思う
- (5) 避難については、特に考えず自宅に居続けると思う

Q13 現在、浸水に備えて実施している対策はありますか。（複数選択可）

- (1) 止水板の設置
- (2) 家具等の移動対策
- (3) 電気・機械設備の高上げ
- (4) 宅地地盤の高上げ
- (5) 住宅の高床化
- (6) 住宅の耐水化（防水窓 等）
- (7) ハザードマップの確認
- (8) 家族での避難計画の作成
- (9) 特に実施していない
- (10) その他（自由記述）

Q14 豪雨・浸水が発生した場合、特に不安に感じることはなんですか。（3つまで選択可）

※被災経験のある方は「前回の経験を踏まえて」、ない方は「想定して」お答えください。

- (1) 命や健康への影響
- (2) 自宅や家財への被害
- (3) 避難が間に合うかどうか
- (4) 避難生活が長期化すること
- (5) 生活再建や修繕費の負担
- (6) 特に不安は感じていない
- (7) その他（自由記述）

Q15 あなたが今後、浸水対策を検討すると想定した場合、特に重視する災害の頻度や規模についてあなたの考えに最も近いものを一つ選んでください。（1つ選択）

- (1) 比較的頻繁に発生する可能性がある豪雨災害
（被害例）道路冠水、敷地内浸水など
- (2) 数年～十数年に1度程度発生する可能性がある豪雨災害
（被害例）床下・床上浸水など
- (3) これまで経験したことがないような豪雨災害
（被害例）堤防越水や決壊、住宅の2階まで浸水など
- (4) 判断が難しい／よく分からない

Q16 今後、浸水被害に備えて新たに検討したい、もしくは追加で実施したい対策はありますか。

(3つまで選択可)

- (1) 止水板の設置
- (2) 家具等の移動対策
- (3) 電気・機械設備の嵩上げ
- (4) 宅地地盤の嵩上げ
- (5) 住宅の高床化
- (6) 住宅の耐水化(防水窓等)
- (7) ハザードマップの確認
- (8) 家族での避難計画の作成
- (9) 特に検討したい対策はない
- (10) その他(自由記述)

Q17 ご自身で住宅の浸水対策を行う場合の費用負担についてどのように考えますか。(1つ選択)

- (1) 補助の有無にかかわらず、検討実施する予定はない
- (2) 補助の有無にかかわらず、自己負担があると実施は難しい
- (3) 少しでも補助があれば検討したい
- (4) 補助の有無にかかわらず、自己負担のみでも必要に応じて実施したい

Q18 豪雨・浸水時に備えて、近隣住民や地域での助け合い(共助)について、あなたの考えに近いものを教えてください。(1つ選択)

- (1) 日頃から近隣と声を掛け合い、災害時も助け合いたい
- (2) 機会があれば、地域の防災活動や助け合いに参加したい
- (3) 助け合いは重要だと思うが、自分が関わるのは難しい
- (4) 主に行政や地域コミュニティの支援に頼りたい
- (5) 特に意識したことはない

Q19 豪雨・浸水対策として、行政に特に期待する取組を教えてください。(複数選択可)

- (1) 堤防などのハード対策
- (2) 個人の浸水対策への補助(宅地地盤の嵩上げ・住宅の高床化・耐水化等)
- (3) 安全なエリアへの移転支援制度
- (4) 浸水情報・警戒情報の精度向上
- (5) 避難所の改善(環境・設備)
- (6) 個別避難計画作成に対する支援
- (7) 浸水対策に関する相談や情報提供
- (8) その他(自由記述)

Q20 浸水対策など、そのほかご意見がある方はご記入ください。(自由記述)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。